

令和8年度 第1回学校運営協議会 及び 第1回コンプライアンス委員会

記録 教務課長

1 日 時 令和8年6月24日（水）9:30～12:00

2 会 場 本校校長室

3 参加者

(1) 学校運営協議会委員

常葉大学教育学部初等教育課程 講師

協同組合 静岡流通センター 専務理事

弁護士法人 ましろ総合法律事務所 代表弁護士

麻機学区自治会連合会 防災委員長

本校PTA会長

(2) 本校職員

校長、副校長、教頭、事務長、部主事（小・中・高）、教務課長

4 会議次第

(1)開会

(2)協議①「学校運営協議会について」

(3)校内案内

(4)協議②「令和8年度学校経営計画について」

(5)第1回コンプライアンス委員会

(6)閉会

5 会議内容

(1)開会

ア 校長挨拶

- ・6月3日（水）に予定していたが、台風のため延期し、本日の開催になった。御都合をつけてくださり、ありがとうございます。
- ・静岡視覚特別支援学校があった場所に、するが視覚総合特別支援学校が開校。昨年度の中学部3年生の一部の生徒がそちらに入学した。本校は昨年度児童生徒数 387 人だったが、今年度は352人でスタートした。
- ・4月は環境の変化に慣れず、不安を感じた児童生徒や教職員も多かった。5月は小中学部は運動会、高等部は職場実習が行われる中、環境に慣れ、児童生徒の輝く姿や成長を見ることができた。輝く姿や成長は子供からのプレゼント。多くの力をもらっている。
- ・今日は子供たちを真ん中に置いての作戦会議。よろしくお願いします。

イ 自己紹介

ウ 日程説明

(2) 協議①

ア 本日の協議の趣旨説明

イ 学校運営協議会について

(ア) 規則、要綱確認

(イ) 会長・副会長について

・野村様に会長を、上川様に副会長をお願いします。

(3) 校内案内

(4) 協議②「令和8年度学校経営計画について」

ア 令和8年度の学校経営計画について（グランドデザインを含む）説明

(ア) 説明

- ・グランドデザインのモチーフは麻機に咲く蓮の花。
- ・教育目標『『夢中』と『笑顔』で共生社会を生きる人』に向かい、いろいろなことに興味を持ち、最後まで活動に取り組み、満足感を得て、さらにチャレンジしていくといった児童生徒の姿を期待している。グランドデザインには、小学部から高等部までの12年間のつながりが分かるよう示した。児童生徒、保護者、職員、地域の方と支え合って教育活動を実現していきたい。それを支えていただくのが学校運営協議会と考えている。
- ・「安全・安心」をベースに、「専門性」「連携」の三つの柱で取り組んでいく。
- ・当たり前前を当たり前に行うことが大切だと考えている。
- ・「安全・安心」では、「挨拶」がさらに本校の自慢となるように磨きをかけていきたい。生徒指導課ファイルを活用して、いじめやセクハラ、児童生徒の困っていることに目を向けて対応していきたい。
- ・「専門性」では、一人ひとりのことを丁寧に理解して、目標設定や授業づくりを行いたい。校内の授業実践例は財産として教員同士で共有していきたい。
- ・「連携」では、個別の教育支援計画を活用し、関係機関と十分に連携していきたい。「麻活」の充実を図っていく。
- ・エピソードを紹介。高等部が行った1年生歓迎会で、上級生から「みんなで『夢中』になって、いっぱい『笑顔』になろう。」という呼び掛けがあった。学校教育目標が子供たち自身の言葉になっていてとても嬉しい。また、高等部生徒が中心になって企画した昼休みのダンス集会が行われたが、「みんなで絆を深めたい。」という思いを実現した。そういった思いを持っている子供たちの背中を押したい。

(イ) 各学部の経営

・【小学部】

学部目標は、「みんなと元気に自分から取り組む児童」。児童には、「みんなと元気にやってみよう」という合言葉にして普段から呼び掛けている。児童、教師が一緒になって目標に迫っていききたい。体験的な学びを通して成長してほしい。小学部は社会生活の基礎を培う時期。身辺自立に向けて一つ一つ丁寧に指導していく。コミュニケーションは社会性の基礎となるもの。一人ひとりの良い所や特徴を見て、また、生活年齢を考慮して指導していく。学部内の縦のつながりも大切にしていきたい。

・【中学部】

学部目標は、「自ら考え、仲間と共に進んで活動する生徒」。中学生は、思春期で変化が著しい。その中で、命を大切にする授業や性の学習を行い、自分も周りの人も大切することを学ぶことができるようにする。3年生の生徒の中には、するが視覚総合特別支援学校に進学する生徒もいるため、本人、保護者の進路に関する悩みに対し、丁寧に対応する。水泳指導が始まり、プールの設置準備等とても大変だが、笑顔や普段見られない

姿が見られる。「麻活」では、麻機の良いところを生かして「学校にできることは何か。」を考えていきたい。

・【高等部】

学部目標は、「自ら挑戦し、可能性を広げ、仲間と共に地域で活躍する生徒」。高等部は働く人の基礎を身に付ける。「レクリエーションをやりたい。」「バスでのマナーを確認する時間を作りたい。」等、生徒発信の企画が実現できるようにサポートしている。開かれた学校を目指し、保護者に職場実習許可伝達式や職場実習報告会の参観を呼び掛けている。今後、県のSNSを活用して情報発信をすることも考えている。毎週金曜日に生徒にパソコン室を開放し、生徒のICT活用にも力を入れている。

(ウ)質問・意見（・）とそれに対する回答（→）

- ・プールの設置準備が大変とのこと。建設業の関係者のボランティアに呼び掛けるのはどうか。
- ・高等部の生徒会には、指導する教師はついているのか。
→生徒だけでは難しい。担当課と部主事で事前に打ち合わせをした上でサポートしている。
「他校ではこういうことをやっている。」という情報を知っている生徒もあり、生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・総合運動部というのは、どういった経緯でできたのか。
→大会に出場する生徒が集まらない現状があったことと、教師の負担軽減を考え、総合という形にした。
- ・校内参観で、祭りで使うテーブルの飾り付けの活動を見た。教師が児童の個性を生かして支援をしていて面白いものだと感じた。
- ・校内参観で見た掲示物に、「麻活」で見た動植物を紹介するものがあつた。みんなで魚を見に行ったら、水が濁ってしまい、魚を捕まえられなかったという出来事を生成AIを使って掲示物に仕立てていた。生徒だけでは文章にしきれなかったところを補っていた。これは他の生徒にとっても学びになる。
- ・静岡市の中学校3年生の中で進路が決まらなかったケースがあつたと聞き、懸念している。進路指導を計画的に行わなければならない。その中で、生徒や保護者が適切な情報を持っているかどうか、また、生徒のニーズに合った情報を提供できているかが心配だ。
→本人、保護者に正しい情報が伝わらずに進路指導されている状況がある。特別支援学校として正しい情報を提供するとともに、このことについては課題意識を持って取り組んでいきたい。

※学校経営計画について、学校運営協議会員の皆様の承認が得られた。

※第2回以降の学校運営協議会の予定について確認された。

(5)第1回コンプライアンス委員会

ア 不祥事根絶への取組計画

(ア)今年度の本校の取組計画

- ・人権意識の向上を目指して、幅広く研修し、不祥事を起こさない意識を持つことができるようにする。
- ・SNSを使った個人的なやり取りは、わいせつ行為に発展することもあるので、気を付けていきたい。
- ・交通安全に関しては、2年目の若手教員からなる交通安全委員や、輪番による退勤時の

メッセージ放送で交通安全の呼び掛けを行う。

- ・不祥事を起こさないための研修や呼び掛けをしていくが、風通しの良い職場づくりも大切である。挨拶や日ごろのコミュニケーションを大切にしたい。職員が心身ともに健康に、また、業務の効率化を図って時間外勤務の負担が無いような環境づくりをしていく。

(イ)教職員心得

- ・教職員の意識向上のために「静岡県立静岡北特別支援学校教職員心得」を作成し、全体で共有している。

イ 質問や意見（・）とそれに対する回答（→）
特になし。

(6)閉会（校長挨拶）

- ・子供たちの様子を見ていただき、ありがとうございました。引き続き、サポートをよろしくお願いいたします。